

**英語絵本読み聞かせのための教室英語表現集の提案**  
 — 英語が苦手な教員が小学校「外国語活動」を英語で行うために —  
*Proposing a Classroom English Textbook Specialized for Picturebook Storytelling*  
 — For Elementary School Teachers to Teach “Foreign Language Activities” in English  
 without Difficulties —

早川 知江 HAYAKAWA Chie  
 (芸術教養領域)

## 0. はじめに

本稿は、小学校英語教育で英語絵本を効果的に活用しようとする研究の一環である。2020年度から5、6年生の「外国語」科が小学校で初めて教科として必修化されるなど、小学校での英語教育はますます重要性を増している。同時に、英語教育における絵本も、その存在感を増している。

そもそも文科省が、外国語指導者に必要な資質や能力の1つとして、「感情を込めて絵本の読み聞かせができる」ことを挙げている(東京学芸大学 2017)ように、絵本読み聞かせは、小学校英語教育を担当するのに必須の技術とされている。また読み聞かせ中に、単に本文を読み上げるだけでなく、教師が様々なコメントや問いかけをして児童と「やり取り」する重要性も、数多くの研究で指摘されている(研究例の一部として、恵泉英語教育研究会 (KEES) 2014: 7、萬谷 2009: 79、外山他 2010: 15, 21、など)。

同時に、現行の小学校学習指導要領(平成29年告示)解説に「外国語活動を実施する際に、児童に活発なコミュニケーションの場を与えたり[...]するためには、指導者に、ある程度、英語をはじめとする外国語を聞いたり話したりするスキルや、様々な国や地域の文化についての知識や理解が求められる(p. 48)」とあるように、小学校での英語教育は、英語で行うことが義務ではないが推奨されている。それにはさまざまなメリットがある: 教師の発話により児童への英語インプット量が増える、教師が英語で話そうとする姿勢が児童に英語でコミュニケーションする意欲を起こさせる、英語の指示に即座に反応する機会を与えることで日本語訳を介さずに英語を英語のまま理解できるようになる、などである。

以上のことから、小学校における英語絵本を読み聞かせでも、教師が英語でコメントや問いを寄せられることが望ましく、また、教師がその訓練ができるような教室英語表現集の存在が求められる。本稿は、こうした表現集は以下の3つの条件を満たすべきだと提案する:

- ・ 絵本読み聞かせに特化した表現がまとまっている
- ・ 教師が英語が苦手であっても、自信をもって用いることのできる平易な表現を厳選し

ている

・児童から見ても、語彙的・文法的に難しすぎない表現を用いている

本稿がこの条件を掲げるのは、①絵本読み聞かせに特化した表現集が少ない、②英語の授業を担当したり、教室英語を使うことに苦手意識を持っている小学校教師が多い、③既存の教室英語表現集の語彙・文法レベルは、教師が使いこなすにも、また児童が聞き取るにも適さない高レベルなものが多い、という課題からきている。まず第1節でこれらの課題について詳しく述べ、問題の所在を明らかにする。続く第2節で、小学校外国語教育で用いるのに適切な英語レベルについて論ずる。最後に第3節で、既存の数冊の教室英語表現集から、絵本読み聞かせに使用可能な表現を抜き出し、それを第2節で見た適切なレベルに「書き換える」ことで、英語絵本読み聞かせのための新たな教室英語表現集を提案したい。

## 1. 問題の所在

### 1.1 絵本読み聞かせ時の英語コメントの必要性

そもそも絵本読み聞かせ時に、本文を読み上げるだけでなく、教師がコメントや解説、問いかけを挟むことは必要だろうか。またそれが英語である必要はあるだろうか。このことについて、いくつかの先行研究からの裏付けをまとめる。

Pica (1994) は、教室でのさまざまな意味交渉 (negotiation of meaning) について研究する中で、絵本の読み聞かせについても扱っている。その研究によれば、教師は、絵本読み聞かせの際、児童の理解度や反応に合わせて、分からないフレーズを繰り返しゆっくり読む、難しい表現を簡単な表現に言い直す、日本語での補助を入れる、児童の質問に答えるなどして、ストーリー理解を促すような様々な工夫を凝らす。こうした「やり取り」が、言語習得を促すという。

ほかにも、教室で絵本を使用する際のやり取りの重要性は多くの研究で指摘されている。例えば、樋口、他 (2017: 98) は、絵本を用いて外国語を指導する際のポイントとして、「ページをめくる前に次に起こることを予想させたり、読み終わった後で登場したものの内容を尋ねたりと、インタラクティブに進める」ことが重要だと指摘している。また外山、他 (2010: 21) は、「教材として英語の絵本を使う基本的な理由」の1つとして「予測する力を養う」ことを挙げており、そのためには「ページをめくる前に「次はどうなると思う？」と問いかけ、予測・推測する力を育てることが大切です。想像力をはたらかせ、自分の意見を言う機会を作りましょう」と述べている。

このように、絵本の読み聞かせにやり取りが欠かせないことは異論の余地がないと考えられるが、それを一歩進めて、日本語よりも英語による声かけがより効果的であることを指摘した研究として、萬谷 (2009) を紹介したい。萬谷は、小学校の授業における英語絵本読み聞かせ時に、教師と児童が用いた発話を調査した。そして教師の用いた発話の種類

(Yes-No 疑問文、Wh 疑問文、承認、言い換え、など) と、その直後の児童の発話頻度の相関を見ることで、教師のどのような発話が児童の(できれば英語の)発話を促すか分析した。萬谷の調査の結果、最も児童の発話を引き出した(つまりその発話を教師がした直後に児童の発話が増えた)のは、児童の発言を褒めたり認めたりする Acceptance で、2番目に児童の発話を引き出したのは、内容を問いかける Wh 疑問文、4番目が Yes か No かを問いかける Yes-No 疑問文であった。このように、褒められたり、質問されたりすると発話したくなるのは、直感的にも予想できる。しかし、本稿でさらに注目したいのは、日本語による問いかけより英語による問いかけの方が、児童の英語による発話をより多く引き出したという結果である。萬谷自身はこの現象を、「教師ができるだけ英語で話す努力が子供の英語発話の増加に貢献する(2009: 77)」とまとめている。

## 1.2 絵本読み聞かせに特化した表現集の必要性

前節に見たように、絵本読み聞かせの際に、教師が適切なコメントや問いかけを英語で発し、それによって児童が英語を聞く・英語で発話する機会が増えたら、外国語の教育効果は非常に高まるだろう。しかし現実的には、それはほとんどの小学校教師にとって容易なことではない。

その原因としてまず、「外国語」科の導入に対し、現場の教員の準備期間が足りなかったことが挙げられる。2020年の必修化の直前2015年に東京都杉並区が現役小学校教員を対象に行った調査で、40%が「外国語は専科教員が教えることになる」と考え、学級担任が教えると思っていた教員は15%にとどまる(吉田 2018: 93)など、自分が外国語の指導をするとは予期しておらず、そのための準備や訓練を受ける機会もないうちに担当に至った教師が多いことが挙げられる。

また、語学力の不足もある。全国19,336校の小学校教師を対象に文部科学省が行った、平成30年度「英語教育実施状況調査」概要([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kokusai/gaikokugo/1415042.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1415042.htm))によると、小学校教師のうち、中・高等学校英語免許状を所有している割合は5.9%にとどまり、教室で英語を教える資格や語学力に対し、自信をもてない現状が窺える。

このことは、小学校教師を目指す学生を対象にした調査でも明らかになっている。早川(2021)は、名古屋芸術大学の人間発達学部 小学校教員免許取得課程科目「外国語科指導法」において、受講生に「教師役」「児童役」に分かれて英語絵本読み聞かせを行わせ、訓練のどの過程で英語のコメント能力が向上するか調査した(調査の具体的な手順・結果の詳細は早川(2021)を参照のこと)。

調査の手順は概略、以下の通りである：

### 1. 受講生による絵本読み聞かせ ① (訓練・指導前)

2. 手本となる読み聞かせ鑑賞
3. 受講生による絵本読み聞かせ ②
4. 既存の教室英語表現集を用いた読み聞かせに使える表現の学習・暗記
5. 受講生による絵本読み聞かせ ③

この3段階の読み聞かせを学生の許可を得て録音・分析し、各段階で学生が用いた発話を比較分析することで、どの段階で学生の読み聞かせ能力が向上するか調査した。その結果は以下の通りである：

- ・読み聞かせ①では、本文朗読以外の発話はなし
- ・読み聞かせ②（＝手本となる読み聞かせ鑑賞後）では、教師役は児童役学生の発話を引き出すような発話カテゴリーを巧みに使用
- ・ただし教師役学生・児童役学生の発話はほぼすべて日本語
- ・読み聞かせ③（＝教室英語表現集を学習・暗記した後）で、教師役・児童役とも英語の発話が増える
- ・ただし日本語に対しての英語の使用頻度は低い
- ・英語で発話する場合、似た意味の発話はほぼ毎回同じ表現となる（例：褒めことばは常に Good! か Good job!）
- ・必要な英語表現を思い出すまでに時間がかかる

上記のように、効果的な読み聞かせについてなんの訓練も学習も行わない時点では、学生は単に絵本の英語本文を読み上げるにとどまった。しかし「手本となる読み聞かせ」を1度鑑賞した後すぐに、教師役学生は児童役学生の発話を引き出すようなコメントを多く取り入れるようになる。ただし、この時点では「それを英語でどう言うか」が分からないため、発話は日本語に限られた。次に、既存の教室英語表現集の中から絵本読み聞かせに使う表現を抜き出して学習・暗記した後には、教師役学生による英語の発話が増え、それに答える児童役の英語の発話も増えた（教師役学生の英語発話を模倣する場面もあった）。このように、読み聞かせ①→②→③と進むにつれ、徐々に児童の英語発話を引き出すような効果的な読み聞かせに近づいてはいくが、最終的に「必要な英語表現を咄嗟に思いつけない」「同内容の発話は常に同じ英語表現で、バリエーションに乏しい」などの課題が残り、十分な読み聞かせ能力が身についたとはいえない。

このように、教師（を目指す学生）に絵本読み聞かせに必要な英語表現のストックが乏しいことから、「絵本読み聞かせ」という状況に特化した表現集の存在が求められる。

### 1.3 既存の教室英語表現集の課題：絵本読み聞かせに特化した表現集の不足と、難易度の問題

絵本読み聞かせに利用しうる表現集の必要性を前節で確認したが、小学校での英語教育が義務化されるのに伴い、小学校教師のための教室英語表現集は、既に多数、さまざまな形で公開・出版されている。以下がその一例である：

- 大学の小学校教員免許取得課程科目での使用を想定した教科書やその付録
  - ・小原弥生、豊田典子、高橋まり、Steven Rogers 著『Let's Have Fun Teaching English ここから始めよう児童英語！——理論から実践へ』南雲堂 2019年
  - ・カレイラ松崎順子著『Bright and Early—Classroom English for Teachers for Children ——子どもに英語を教えるための教室英語』南雲堂 2009年 など
- 県教育委員会や教育センターが提供するウェブサイト
  - ・長崎県教育委員会の「教育英語表現集」サイト：  
<https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2013/07/1374196308.pdf>
  - ・山口県義務教育課の「小学校外国語活動だより」サイト内「教室英語表現集」：  
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cmsdata/b/a/6/ba67831e3c03861d8ff7f0f486aca245.pdf>
  - ・愛知県総合教育センターの「教室英語集」サイト：  
[https://apec.aichi-c.ed.jp/kenkyu/chousa/kiyo/98syuu/kyouka\\_eigo/part3all.pdf](https://apec.aichi-c.ed.jp/kenkyu/chousa/kiyo/98syuu/kyouka_eigo/part3all.pdf) など
- 市販の小学校教室英語表現集
  - ・永井淳子、粕谷恭子著『小学校の英語 教室で使える基本表現 200』三省堂 2019年
  - ・ヘンリー・ドレナン (Henry V. Drennan) 著『ヘンリーおじさんの 英語でレッスンができる本——ネイティブが教える、子ども英語教室フレーズ集』アルク 2004年
  - ・Bryan Gardner, Felicity Gardner 著、松川禮子監修、平松貴美子日本語版翻訳・執筆『小学校ではじめて英語を教える先生のための 教室英語ガイド』Oxford University Press. 2005年 など

これら既存の教室英語表現集の特徴として、共通して以下のことがいえる：

- ・さまざまな「見出し」の下に、そこで使える英語表現をリストアップしている
- ・見出しは、教室で想定される「場面」(例：授業の始まり、終わり、ゲームをする時 など)、または「機能」(例：褒める、指示する、注意する など)を示す
- ・多くの教材で、見出しに「場面」と「機能」が混在している
- ・「場面」として「絵本読み聞かせ」を設定した表現集は(現在探した限りでは)ない

もちろん、これらの教材は実用的な表現集として優れた点を多く持っているが、「英語

絵本読み聞かせ」という場面での使用に特化したものではないため、読み聞かせで使用する表現があちこちに散在するという欠点を持っている。以下に例を示す：

- ・読み聞かせを始める Is everybody ready? は、「授業の始まり」の見出し下に記載
- ・挿絵中のものの名前を英語で尋ねる What do you say it in English? は、「前時の復習」の見出し下に記載
- ・質問する Who~? / How~? / What~? は、Who's absent today? / How's the weather today? / What's the date today? などの形で「授業の前に」の見出し下に記載
- ・児童の発言を褒める Good. / Nice. / Fine. / Right. は、「賞賛する」の見出し下に記載
- ・児童の発言を確認する Are you sure? は、「理解等を確認する」の見出し下に記載

このように、読み聞かせで使用する表現が1つにまとまっていないため、単に表現集を暗記しただけでは、ある場面に必要な表現を思い出そうとしても、それを具現する表現を教材のあちこちを思い出しながら探し当てねばならず、時間がかかる。また、似たような意味の異なる選択肢を整理して記憶するのも難しい。それが、本稿が読み聞かせに特化した新たな表現集の作成を提案する理由の1つである。

もう1つの理由は、語彙・文法的な難易度の問題である。市販の教室英語表現集には、表紙や帯に「～と英語で言えますか？」などの問いかけとともに、咄嗟に英語が思いつかないようなフレーズを示し、英語学習の必要性をアピールするようなものも見受けられる。一例として、「男女別に並んでね」というフレーズを「あなたならどう言う？（答えは本書中）」という問いかけと共に表紙に掲げ、読者の興味を引きつけ購買を促すものがある。「本書」によると、その答えは I want boys to make one line, and girls another. だという。しかし、このように小学校教師やそれを目指す人でも容易に思いつかないような複雑な表現を、教室で児童相手に用いるのが本当に適切か、という疑問がわく。上記の表現は、「want 人 to 動詞」の部分がいわゆる SVOC の第5文型をとり、動詞が示す動作を行うのは、文の主語ではなく O の部分に当たる人である。また、one line の指示詞として another（この場合 another line を指す）を用いるなど、文法的に高度である。これが具体的に小学校で教えるべき語彙・文法のレベルからどう逸脱しているかは次節に述べるが、一読して小学生を相手に用いるべき表現でないことは分かる。「これが英語で言えますか」と小学校教師に挑戦してみたところで、教師がこの表現を使っても児童が理解できなければ無意味である。同じ内容であれば、Boys, line up here. Girls, line up here. (男の子はここ [= 手で場所を示しながら] に並んで。女の子はここに並んで) という、呼びかけを伴う単純な命令文で十分に伝えられる。本稿が、既存の教室英語表現集から抜き出した表現を「書き換える」ことで、適切なレベルの新しい表現集をつくろうと提案するのは、こうした理由による。

## 2. 小学校外国語教育に適切な語彙・文法のレベル

それでは、小学校外国語教育に適した語彙・文法レベルとは、どの程度なのだろうか。現行の小学校学習指導要領によれば、具体的な語彙数として、「2 内容〔第5学年及び第6学年〕ウ 語、連語及び慣用表現」の項に、小学校3-6年生の間に扱うべき語彙は「第3学年及び第4学年において第4章外国語活動を履修する際に取り扱った語を含む600～700語程度」としている。その中身は、「小学校段階で求められる定型の挨拶、自分や身の回りの物事に関する簡単な描写や質問と応答、自分の気持ちや考えを述べる最も基礎的な言い回しなどに必要な語」とされている。しかし、どのような語彙をこの600-700語として定めるかは現時点でははっきりと示されておらず、教科書作成者や指導者に任されているのが現状である。参考のため、本項末尾に「付表」として、「外国語」が教科化されるのに伴い、民間の教科書会社が検定済教科書を用意するまでの間の「暫定教科書」として文科省が作成した、小学校5-6年生向け教科書 *We Can!* 1, 2に載っている単語をリストとして示した。つまりこれらが、「小学生が知っていると思定される単語リスト」と言えるだろう。

次に、文法の検討に移る。文法事項の中でも、特に文の複雑さに関連する「文型」について見てみる。同じく小学校学習指導要領（2 内容〔第5学年及び第6学年〕エ 文及び文構造）によれば、小学校のうちに学ぶべき文型は以下の3通りであるという：

- a [主語 + 動詞]  
 b [主語 + 動詞 + 補語] のうち、
- |              |   |                  |
|--------------|---|------------------|
| 主語 + be 動詞 + | { | 名詞<br>代名詞<br>形容詞 |
|--------------|---|------------------|
- c [主語 + 動詞 + 目的語] のうち、
- |           |   |           |
|-----------|---|-----------|
| 主語 + 動詞 + | { | 名詞<br>代名詞 |
|-----------|---|-----------|

これはすなわち、いわゆる「5文型」の考え方では、第1文型（SV）、第2文型（SVC）、第3文型（SVO）の3種のみであり、しかも第2文型の動詞（V）はbe動詞のみということである。同じ第2文型でも、You look happy.（あなたは幸せに見える）、It got dark.（暗くなった）など、look, get, seem, smellなどの一般動詞を述語とする文は範疇外ということになる。

もちろん、ここに示した以外の語彙・文法を教室で1つも用いてはいけない、ということではない。教師が新しい語彙や表現を用いることで児童は新たな学習をしていくのであ

り、常に Krashen のいう「 $1 + a$ 」のインプットは必要である（「 $1 + a$ 」とは、言語学者・教育学者である Krashen が、第2言語習得過程を論じたナチュラル・アプローチのなかで論じた概念で、「学習者が今もっている知識・能力よりも、少しだけ高いレベルの知識・能力」を指す。これをうまく習得させることで、学習は最も効率よく進むとした。詳しくは Krashen (1982) や Krashen and Terrell (1983) を参照のこと）。しかしそれはあくまで、新しい語彙・文法が「 $1 + a$ 」の範囲内に収まっており、かつ未知の部分を学習者が推測できるような十分なヒントや状況の中で用いられた場合である。使用する語彙・文法が、学習者の現在のレベルからかけ離れて高度であったり、未知の要素が多すぎる状況（すなわち新出の語彙・文法が同時に多数用いられる状況）では、児童の学習意欲が削がれるだけでなく、教育効果も望めないだろう。

### 3. 提案：絵本読み聞かせに用いる「平易な」教室英語表現集

本節は、小学校英語教育の現場で、特に絵本読み聞かせの際に教師が声かけとして用いることのできる教室英語表現集を新たに提案する。こうした表現集は、最終的には、教室で起こりうるすべての活動・扱う可能性のあるすべての教材を網羅することが望ましい。しかし現時点ではそれを完成する状態に至っていないため、まずは絵本読み聞かせという特定の活動の場で用いる表現に限定して表現集を提案する。これにより、以下の2点を達成できると考える：

- ① 英語が苦手な教師でも使用しやすい表現集とは何か例示し、今後表現集を拡充する際のモデルを提示する
- ② 絵本読み聞かせという活動に特化した表現集を示すことで、教師が少なくともその活動は自信をもって行うことができる一助とする

表現集の作成方針は以下の通りである：

- (1) 第1.2節に「市販の小学校教室英語表現集」として紹介した下記の3冊から、絵本読み聞かせ時に教員が児童にコメントしたり質問したりするのに使用できる表現を抜き出す：
  - ・永井淳子、粕谷恭子著『小学校の英語 教室で使える基本表現 200』三省堂 2019年
  - ・ヘンリー・ドレナン (Henry V. Drennan) 著『ヘンリーおじさんの 英語でレッスンができる本——ネイティブが教える、子ども英語教室フレーズ集』アルク 2004年
  - ・Bryan Gardner, Felicity Gardner 著、松川禮子監修、平松貴美子日本語版翻訳・執筆『小学校ではじめて英語を教える先生のための 教室英語ガイド』Oxford University Press. 2005年
- (2) その中から、第2節に論じた「小学校英語教育に適切な語彙・文法的レベル」を超

えている表現を抜き出す

- (3) それらの高度な表現を、「小学校英語教育に適切な語彙・文法的レベル」に沿って書き換える

まず、(1)の絵本読み聞かせ時に用いることのできる表現は表1の通りである。

表1：絵本読み聞かせ時に用いることのできる教室英語（既存の表現集から抜き出し・整理）

|                         | 日本語               | 英語   | 使用できる場面                    |
|-------------------------|-------------------|--|----------------------------|
| <b>読み聞かせを始める</b>        |                   |  |                            |
| 1.                      | これからお話を読んであげますね   | I'm now going to read you a story.           | 読み聞かせを予告する                 |
| 2.                      | お話が始まるまで、静かに待っててね | Can you wait quietly until the story begins? | 読み聞かせまで静かに待たせる             |
| 3.                      | 私の周りに集まってね        | Please come around me.                       | 絵本の周りに集まらせる                |
| 4.                      | 床に座ろうね            | Sit on the floor now.                        | 床に座らせる                     |
| 5.                      | 少し前進してくれますか       | Can you step forward a little?               | 座る位置を調整する                  |
| 6.                      | 少し詰めて（移動して）       | Move over.                                   | 座る位置を調整する                  |
| 7.                      | 本が見える？            | Can you see the book?                        | 本が見えるか確認する                 |
| 8.                      | 今日は何を読むのかな？       | What are we going to read today?             | 絵本を紹介する                    |
| 9.                      | 前にこの本を読んだことがある人？  | Who has read this book before?               | 絵本を紹介する                    |
| 10.                     | これ、知ってる人？         | Who knows this?                              | 読もうとする絵本やキャラクターを知っているか確認する |
| 11.                     | よく聞いてください         | Your attention, please.                      | 読み聞かせに集中させる                |
| 12.                     | 静かにしてくれますか？       | Can you be quiet, please? / Don't talk.      | 同上                         |
| 13.                     | お行儀よくしてね          | Please behave yourself.                      | 同上                         |
| <b>読み聞かせ中のコメント・問いかけ</b> |                   |  |                            |
| 14.                     | この絵を見てください        | Look at this picture.                        | 絵に注目させる                    |
| 15.                     | 犬は何色ですか           | What color is the dog?                       | 絵の中のものの色を答えさせる             |
| 16.                     | この箱に何が入っているかな？    | What's in this box?                          | 絵の中のものを予想させる               |
| 17.                     | なんだと思う？           | Guess what?                                  | 何か予想させる                    |
| 18.                     | これが何かわかる人？        | Can you guess what it is?                    | （一部隠れた）ものが何か答えさせる          |
| 19.                     | この絵の中に何が見える？      | What do you see in this picture?             | 絵の中に描かれたものを尋ねる             |
| 20.                     | この単語を覚えていますか？     | Do you remember this word?                   | 絵本に出てくる単語を知っているか確認する       |
| 21.                     | Elephantってどういう意味？ | What does "elephant" mean?                   | 絵本に出てくる単語を知っているか確認する（意味）   |
| 22.                     | このことばはどう発音しますか？   | How do you pronounce this word?              | 絵本に出てくる単語を知っているか確認する（発音）   |

|     |                     |   |                            |
|-----|---------------------|---|----------------------------|
| 23. | 「ゾウ」は英語で何？          | What's "zou" in English?                  | 児童の日本語のコメントや回答を英語にする       |
| 24. | 新しい単語を覚えましょう        | Let's learn new words.                    | 絵本に出てきた単語を練習する(意味)         |
| 25. | 「モンキー」はどう綴るの？       | How do you spell "monkey"?                | 絵本に出てきた単語を練習する(綴り)         |
| 26. | 私のあとについて言ってみて       | Repeat after me.                          | 絵本に出てきた単語を練習する(発音)         |
| 27. | 一緒に言いましょ            | Let's say it together.                    | 絵本に出てきた単語を練習する(発音)         |
| 28. | 大文字のBを指してくれますか？     | Can you point at capital B?               | 絵本の本文で文字の練習をする             |
| 29. | クリスマスまで、あと何日？       | How many more days till Christmas?        | 絵本の内容に関連する質問               |
| 30. | 1週間のうちで、何曜日が一番好き？   | What day of the week do you like best?    | 同上                         |
| 31. | パイナップルが好きな人、手を挙げて   | Who likes pineapples? Raise your hand.    | 同上                         |
| 32. | ネコは好き？              | Do you like cats?                         | 同上                         |
| 33. | どんな動物が好き？           | What animals do you like?                 | 同上                         |
| 34. | これ、知ってる？            | Do you know this?                         | 同上                         |
| 35. | 次は何が起こるかな？          | What do you think happens next?           | 続きを想像させる                   |
| 36. | サオリちゃんは想像力があるね      | Saori has a good imagination.             | 絵本の続きを想像させた時などのフィードバック     |
| 37. | そう考えているのね？          | Is that what you're thinking?             | 同上                         |
| 38. | 青いバッグを見つけてね         | Find a blue bag.                          | 絵の中のものを探させる                |
| 39. | 羊を数えましょう。1, 2, 3... | Let's count the sheep. One, two, three... | 絵の中のもの数を数えさせる              |
| 40. | これできる？              | Can you do this?                          | 登場人物の真似をさせる、手遊びなどを教える      |
| 41. | 私と同じようにしてみてね        | Try to do the same as I do.               | 同上                         |
| 42. | 私とそっくりにやってみて        | Can you do exactly like me?               | 同上                         |
| 43. | おサルさんみたいに動けるかな？     | Can you move around like a monkey?        | 登場人物の真似をさせる                |
| 44. | 30秒でやってみてね          | You have thirty seconds.                  | 絵探しなどの課題に時間制限を設ける          |
| 45. | 急ぐ必要はありませんよ         | There's no need to rush.                  | 課題にゆっくり取り組ませる              |
| 46. | もう一度、やってみますか？       | Do you want to try it again?              | 質問やゲームを繰り返す                |
| 47. | 先生の説明、わかるかな？        | Do you understand my explanation?         | 解説が理解できたか確認する              |
| 48. | 答えが合っているか見てみよう      | Let's see if your answer is correct.      | 児童の予測が合っているか(ページをめくって)確認する |
| 49. | 面白いね！               | How interesting!                          | ストーリーの途中で感想を言う(興味深い)       |

|           |                 |   |                           |
|-----------|-----------------|---|---------------------------|
| 50.       | おかしいね!          | Funny story!                                  | ストーリーの途中で感想を言う<br>(おもしろい) |
| 51.       | それは危険ですね!       | That can be dangerous!                        | ストーリーの途中で感想を言う<br>(危険)    |
| 52.       | ケガをしたら大変!       | I don't want him to get hurt!                 | ストーリーの途中で感想を言う<br>(心配)    |
| 53.       | 私、とても怖い!        | I'm so scared!                                | ストーリーの途中で感想を言う<br>(怖い)    |
| 読み聞かせを終える |                 |   |                           |
| 54.       | このお話は、これでおしまい   | This is the end of the story.                 | 読み聞かせを終える                 |
| 55.       | 絵本、楽しかった?       | Did you enjoy the story?                      | 絵本の感想を尋ねる                 |
| 56.       | まったく馬鹿げた話ね!     | That's a crazy story!                         | 絵本の感想を共有する                |
| 57.       | でも本当の話よ         | But it's true!                                | 同上                        |
| 58.       | 馬は何色だった?        | What color was the horse?                     | 内容を覚えているか確認する<br>(色)      |
| 59.       | 馬は何頭いた?         | How many horses were there?                   | 内容を覚えているか確認する<br>(数)      |
| 60.       | 動物園にいたのは誰?      | Who were the people in the zoo?               | 内容を覚えているか確認する<br>(登場人物)   |
| 61.       | ロンはなんて言った?      | What did Ron say?                             | 内容を覚えているか確認する<br>(セリフ)    |
| 62.       | もう一度、読んであげようか?  | Do you want me to read this once again?       | 読み返してほしいか確認する             |
| 63.       | これを元の場所に戻してくれる? | Can you return this to its original position? | 本を児童に片付けてもらう              |

次に、(2)の手順に移る。すなわち、表1の中から、第2節に論じた「小学校英語教育に適切な語彙・文法的レベル」を超えている表現を抜き出し、どの点が逸脱しているか、どう書き換えると適切かを以下に示す：

1. これからお話を読んであげますね：I'm now going to read you a story.

文型が「read 人 モノ」をとる第4文型。be going to (これから～するつもりです)の熟語も小学生には難しい → It's a story time! (お話の時間ですよ) などの第2文型に

2. お話が始まるまで、静かに待っててね：Can you wait quietly until the story begins?

Can you ～? という疑問文で指示する形が難しい。until (～まで) という接続詞で文をつなぐのも学習の範囲外 → Wait quietly for now, okay? (今は静かに待とうね) などの単純な命令文に

5. 少し前進してくれますか：Can you step forward a little?

Can you ～? という疑問文で指示する形が難しい。step (1歩進む) という動詞も学習の範囲外 → Move closer. (近くに來て) と第1文型の命令文に

9. 前にこの本を読んだことがある人?：Who has read this book before?

- 「have + 過去分詞形」という現在完了は小学校で扱う文法事項ではない → Do you know this story? (このお話知ってる?) という現在形の疑問文に
10. これ、知ってる人? : Who knows this?  
文型自体は単純な第3文型 (SVO) だが、疑問詞の who が主語となる形がイレギュラー → (You) Know this? Anyone? (これ知ってる? 誰か?) という、You を主語とした疑問文に
11. よく聞いてください : Your attention, please.  
頻出の決まり文句とはいえ、attention という単語は小学生レベルではない → Are you listening? (聞いていますか?) という Yes-No 疑問文に
18. これが何かわかる人? : Can you guess what it is?  
guess の目的語としてさらに What is it? という疑問文が入り込んだ間接疑問文で、what it is と語順が変わるところが児童には馴染みが薄い → What is this? Anyone? (これは何? 誰か?) という間接疑問文ではない通常の疑問文に
22. このことばはどう発音しますか? : How do you pronounce this word?  
pronounce (発音する) という単語が小学校の学習対象外 → Can you read this word? (この単語が読める?) として、動詞を read (読む) に
28. 大文字の B を指してくれますか? : Can you point at capital B?  
point at (～を指差す) という熟語が小学校の学習対象外 → Where is capital B? (大文字の B はどこ?) のような疑問文によって指差しを誘導
29. クリスマスまで、あと何日? : How many more days till Christmas?  
How many more (もうさらにいくつ) という疑問文が複雑。till (～まで) という前置詞も小学校の学習範囲外 → When's Christmas? (クリスマスはいつ?) という単純な疑問文に
35. 次は何が起こるかな? : What do you think happens next?  
What happens next? という Wh 疑問文に do you think という Yes-No 疑問文が入り込んだ複雑な構文で、何を聞いているか理解しづらい → What happens next? (次はどうなる?) という通常の Wh 疑問文に
36. サオリちゃんは想像力があるね : Saori has a good imagination.  
imagination (想像力) という単語が小学校の学習対象外 → I like Saori's ideas! (サオリの考え、いいわね!) とし、idea などの単純な名詞に
41. 私と同じようにしてみてくださいね : Try to do the same as I do.  
the same as (～と同じに) という熟語が小学校の学習範囲外 → Can you follow me? (私のマネできる?) のように follow (～の後に続く) などの動詞に
42. 私とそっくりにやってみてください : Can you do exactly like me?  
Can you ~? という疑問文で指示する形が難しい。exactly (正確に) という副詞も学

- 習の範囲外 → Copy what I do, okay? (私のすることをマネて、いい?) などの単純な命令文に
43. おサルさんみたいに動けるかな? : Can you move around like a monkey?  
Can you ~? という疑問文で指示する形が難しい。move around (動き回る) というフレーズも学習の範囲外 → Now, you're a monkey! (さあ、みんなはおサルさんよ!) などの単純な第2文型 (SVC) に
47. 先生の説明、わかるかな? : Do you understand my explanation?  
explanation (説明) という単語が小学校の学習範囲外 → Do you understand? (わかった?) のように目的語のない疑問文でも、文脈から理解できる
48. 答えが合っているか見てみよう : Let's see if your answer is correct.  
if (~かどうか) という接続詞で文をつなぐのは小学校の学習範囲外 → Are you sure? Let's check. (ほんとに? 確かめてみよう) のように、第2文型、第1文型の2文に分割
52. ケガをしたら大変! : I don't want him to get hurt!  
「want 人 to 動詞」という第5文型が小学校の学習範囲外 → He will get hurt! Oh, no! (ケガしちゃう! 大変!) のように、第2文型と間投詞に分割
62. もう一度、読んであげようか? : Do you want me to read this once again?  
「want 人 to 動詞」という第5文型が小学校の学習範囲外 → Read one more time? (もう一度読む?) のような、主語を省略した第1文型の疑問文 (上げ調子のイントネーションで具現) に
63. これを元の場所に戻してくれる? : Can you return this to its original position?  
Can you ~? という疑問文で指示する形が難しい。its (その) という代名詞が何を指すか難しい。original (元の)、position (位置) という単語も小学校の学習範囲外 → Put this back, please? (これを戻してくれる?) など、第2文型の命令文に

これらの修正を反映し、(3)「小学校英語教育に適切な語彙・文法的レベル」に沿うよう、表1を書き換えたものが表2である。

表2 : 絵本読み聞かせ時に用いることのできる平易な教室英語 (小学校の学習レベルに適合)

|           | 日本語               | 英語                          | 使用できる場面        |
|-----------|-------------------|-----------------------------|----------------|
| 読み聞かせを始める |                   |                             |                |
| 1.        | これからお話を読んであげますね   | It's a story time!          | 読み聞かせを予告する     |
| 2.        | お話が始まるまで、静かに待っててね | Wait quietly for now, okay? | 読み聞かせまで静かに待たせる |
| 3.        | 私の周りに集まってね        | Please come around me.      | 絵本の周りに集まらせる    |
| 4.        | 床に座ろうね            | Sit on the floor now.       | 床に座らせる         |
| 5.        | 少し前進していただけますか     | Move closer.                | 座る位置を調整する      |

|                  |                   |   |                            |
|------------------|-------------------|---|----------------------------|
| 6.               | 少し詰めて (移動して)      | Move over.                              | 座る位置を調整する                  |
| 7.               | 本が見える?            | Can you see the book?                   | 本が見えるか確認する                 |
| 8.               | 今日は何を読むのかな?       | What are we going to read today?        | 絵本を紹介する                    |
| 9.               | 前にこの本を読んだことがある人?  | Do you know this story?                 | 絵本を紹介する                    |
| 10.              | これ、知ってる人?         | Know this? Anyone?                      | 読もうとする絵本やキャラクターを知っているか確認する |
| 11.              | よく聞いてください         | Are you listening?                      | 読み聞かせに集中させる                |
| 12.              | 静かにしてくれますか?       | Can you be quiet, please? / Don't talk. | 同上                         |
| 13.              | お行儀よくしてね          | Please behave yourself.                 | 同上                         |
| 読み聞かせ中のコメント・問いかけ |                   |   |                            |
| 14.              | この絵を見てください        | Look at this picture.                   | 絵に注目させる                    |
| 15.              | 犬は何色ですか           | What color is the dog?                  | 絵の中のものの色を答えさせる             |
| 16.              | この箱に何が入っているのかな?   | What's in this box?                     | 絵の中のものを予想させる               |
| 17.              | なんだと思う?           | Guess what?                             | 何か予想させる                    |
| 18.              | これが何かわかる人?        | What is this? Anyone?                   | (一部隠れた)ものが何か答えさせる          |
| 19.              | この絵の中に何が見える?      | What do you see in this picture?        | 絵の中に描かれたものを尋ねる             |
| 20.              | この単語を覚えていますか?     | Do you remember this word?              | 絵本に出てくる単語を知っているか確認する       |
| 21.              | Elephantってどういう意味? | What does "elephant" mean?              | 絵本に出てくる単語を知っているか確認する (意味)  |
| 22.              | このことばはどう発音しますか?   | Can you read this word?                 | 絵本に出てくる単語を知っているか確認する (発音)  |
| 23.              | 「ゾウ」は英語で何?        | What's "zou" in English?                | 児童の日本語のコメントや回答を英語にする       |
| 24.              | 新しい単語を覚えましょう      | Let's learn new words.                  | 絵本に出てきた単語を練習する (意味)        |
| 25.              | 「モンキー」はどう綴るの?     | How do you spell "monkey" ?             | 絵本に出てきた単語を練習する (綴り)        |
| 26.              | 私のあとについて言ってみて     | Repeat after me.                        | 絵本に出てきた単語を練習する (発音)        |
| 27.              | 一緒に言いましょう         | Let's say it together.                  | 絵本に出てきた単語を練習する (発音)        |
| 28.              | 大文字のBを指してくれますか?   | Where is capital B?                     | 絵本の本文で文字の練習をする             |
| 29.              | クリスマスまで、あと何日?     | When's Christmas?                       | 絵本の内容に関連する質問               |
| 30.              | 1週間のうちで、何曜日が一番好き? | What day of the week do you like best?  | 同上                         |
| 31.              | パイナップルが好きの人、手を挙げて | Who likes pineapples? Raise your hand.  | 同上                         |

|           |                   |  |                            |
|-----------|-------------------|--|----------------------------|
| 32.       | ネコは好き？            | Do you like cats?                                    | 同上                         |
| 33.       | どんな動物が好き？         | What animals do you like?                            | 同上                         |
| 34.       | これ、知ってる？          | Do you know this?                                    | 同上                         |
| 35.       | 次は何が起こるかな？        | What happens next?                                   | 続きを想像させる                   |
| 36.       | サオリちゃんは想像力があるね    | I like Saori's ideas!                                | 絵本の続きを想像させた時などのフィードバック     |
| 37.       | そう考えているのね？        | Is that what you're thinking?                        | 同上                         |
| 38.       | 青いバッグを見つけてね       | Find a blue bag.                                     | 絵の中のものを探させる                |
| 39.       | 羊を数えましょう。1, 2, 3… | Let's count the sheep. One, two, three...            | 絵の中のものを数えさせる               |
| 40.       | これできる？            | Can you do this?                                     | 登場人物の真似をさせる、手遊びなどを教える      |
| 41.       | 私と同じようにしてみてくださいね  | Can you follow me?                                   | 同上                         |
| 42.       | 私とそっくりにやってみてね     | Can you do exactly like me?<br>Copy what I do, okay? | 同上                         |
| 43.       | おサルさんみたいに動けるかな？   | Now, you're a monkey!                                | 登場人物の真似をさせる                |
| 44.       | 30秒でやってみてね        | You have thirty seconds.                             | 絵探しなどの課題に時間制限を設ける          |
| 45.       | 急ぐ必要はありませんよ       | There's no need to rush.                             | 課題にゆっくり取り組ませる              |
| 46.       | もう一度、やってみますか？     | Do you want to try it again?                         | 質問やゲームを繰り返す                |
| 47.       | 先生の説明、わかるかな？      | Do you understand?                                   | 解説が理解できたか確認する              |
| 48.       | 答えが合っているか見てみよう    | Are you sure? Let's check.                           | 児童の予測が合っているか(ページをめくって)確認する |
| 49.       | 面白いね！             | How interesting!                                     | ストーリーの途中で感想を言う(興味深い)       |
| 50.       | おかしいね！            | Funny story!   | ストーリーの途中で感想を言う(おもしろい)      |
| 51.       | それは危険ですね！         | That can be dangerous!                               | ストーリーの途中で感想を言う(危険)         |
| 52.       | ケガをしたら大変！         | He will get hurt! Oh, no!                            | ストーリーの途中で感想を言う(心配)         |
| 53.       | 私、とても怖い！          | I'm so scared!                                       | ストーリーの途中で感想を言う(怖い)         |
| 読み聞かせを終える |                   |  |                            |
| 54.       | このお話は、これでおしまい     | This is the end of the story.                        | 読み聞かせを終える                  |
| 55.       | 絵本、楽しかった？         | Did you enjoy the story?                             | 絵本の感想を尋ねる                  |
| 56.       | まったく馬鹿げた話ね！       | That's a crazy story!                                | 絵本の感想を共有する                 |
| 57.       | でも本当の話よ           | But it's true!                                       | 同上                         |
| 58.       | 馬は何色だった？          | What color was the horse?                            | 内容を覚えているか確認する(色)           |
| 59.       | 馬は何頭いた？           | How many horses were there?                          | 内容を覚えているか確認する(数)           |

|     |                 |                                 |                         |
|-----|-----------------|---------------------------------|-------------------------|
| 60. | 動物園にいたのは誰？      | Who were the people in the zoo? | 内容を覚えているか確認する<br>(登場人物) |
| 61. | ロンはなんて言った？      | What did Ron say?               | 内容を覚えているか確認する<br>(セリフ)  |
| 62. | もう一度、読んであげようか？  | Read one more time?             | 読み返してほしいか確認する           |
| 63. | これを元の場所に戻してくれる？ | Can you put this back?          | 本を児童に片付けてもらう            |

以上のように、絵本読み聞かせに特化した教室英語表現集の不足と、市販の教室英語表現集の難易度の不適切さ、という2つの問題意識から始まり、表2でその二つの問題を解決することを目指した表現集を提案した。今後、この表現集を小学校教員免許資格取得過程の授業での読み聞かせ訓練に使用するなど、実践検証を経てより実践的で効果的なものにしていく必要があるだろう。また、第3節中にも述べたように、将来的には絵本読み聞かせだけでなく、小学校外国語教育の場で必要とされるさまざまな活動に対しても、このような視点の表現集を作成する必要があると考える。

その際、本稿で指摘した、「教室英語は、教員の英語力を試すために使用するのではなく、児童の英語力を高めるため、児童が理解できるものを使用する」という視点を欠かさないことが肝要である。そのような観点が、小学校外国語の教材づくりの基本となり、今後小学校外国語教育の質がますます高まっていくことを期待する。

#### 付表：We Can! 1, 2に載っている単語

##### 動詞・助動詞

brush、buy、can【助】、check、clean、cook、dance、drink、eat、get、jump、leave、like、look、make、meet、play、practice、put、read、ride、run、see、skate、ski、sing、speak、stop、study、swim、teach、turn、walk、want、wash、watch

##### 形容詞

active、beautiful、big、bitter、brave、busy、cold、cool、delicious、exciting、fantastic、fine、friendly、fun、gentle、good、great、happy、hard【形】【副】、high、hot、hungry、kind、long、many、much、new、nice、old、sad、salty、short、small、sleepy、soft、sour、special、sweet、tired、wonderful、yummy

##### 副詞

always、never、sometimes、together、usually、very、well

##### 前置詞・副詞 (位置・方向を表すもの)

about【前】【副】、by【前】、down【副】、in【前】、left【名】【副】、on【前】、right【名】【副】、straight【副】、under【前】、up【副】

##### 名詞1：食べ物・飲み物

**food** : breakfast, beefsteak, bread, cake, cup cake, chocolate, curry and rice, daifuku, dessert, dinner, doughnut, egg, fish, French fries, fried chicken, grilled fish, gum, hamburger, hot dog, ice cream, jam, lunch, miso, namul, noodle, omelet, parfait, pie, pizza, popcorn, pudding, rice, ramen, rice ball, salad, sandwich, sausage, shaved ice, snack, spaghetti

**drink** : coffee, corn soup, green tea, juice, milk, mineral water, miso soup, soda pop, soup, tea

**名詞 2 : 野菜と果物**

apple, banana, broccoli, cabbage, carrot, cherry, corn, cucumber, fruit, grapes, green pepper, kiwi fruit, lemon, lettuce, melon, mushroom, nut, onion, orange, peach, pineapple, potato, radish, strawberry, tomato, vegetable, watermelon, zucchini

**名詞 3 : 数・序詞**

number, one...thirty, first, second, third, fourth, fifth...thirtieth

**名詞 4 : 学校生活**

**school** : elementary school, junior high school, (senior) high school

**subjects** : class, arts and crafts, calligraphy, English, home economics, Japanese, math, music, moral education, P.E., science, social studies, homeroom activities

**rooms** : classroom, computer room, cooking room, entrance, gym, library, playground, restroom, school principal's office, school nurse's office

**stationery** : crayon, eraser, glue stick, ink, magnet, marker, notebook, pen, pencil, pencil case, pencil sharpener, ruler, scissors, stapler

**school events** : drama festival, entrance ceremony, field trip, graduation ceremony, music festival, school trip, sports festival, swimming meet, volunteer Day

**名詞 5 : 街・施設・職業**

town

**施設・店** : amusement park, aquarium, bookstore, castle, convenience store, department store, fire station, flower shop, gas station, hospital, house, library, museum, park, police station, post, post office, restaurant, shrine, station, street, supermarket, temple, zoo

**乗り物** : bus, jet, taxi

**job** : artist, astronaut, baker, baseball player, bus driver, comedian, cook, dentist, doctor, farmer, figure skater, fire fighter, flight attendant, florist, hero, king, pilot, police officer, queen, singer, soccer player, teacher, vet, zookeeper

**名詞 6 : 身の回りのもの**

bath, bed, bicycle, book, box, calendar, chair, clock, computer, cup, desk, dish, fan, garbage, homework, lunch box, newspaper, table, telephone, TV, TV program, umbrella, watch, wheelchair, bag, boots, cap, gloves, hat, pants, shirt, shorts, sweater, T-shirt, vest, guitar, drum, violin, piano, recorder

名詞7 : スポーツ、遊び

archery, athletics, badminton, baseball, basketball, boxing, ball, bat, camping, card, canoe, climbing, cycling, dodgeball, fishing, football, gymnastics, hiking, jogging, jump rope, marathon, net, playing, racket, reading, rugby, sailing, shopping, soccer, sport, surfing, swimming, tag, table tennis, tennis, track and field, treasure, unicycle, volleyball, weightlifting, wrestling, yo-yo

名詞8 : 国名

Argentina, Bolivia, Brazil, Britain, Canada, China, country, Denmark, Egypt, Finland, France, Germany, Ghana, Hungary, India, Italy, Japan, Kenya, Laos, Mexico, Mongolia, Norway, Oman, Peru, Qatar, Russia, Singapore, Spain, Turkey, Thailand, United States of America / America, Vietnam, world, Yemen, Zambia

名詞9 : 色・形

**color** : black, blue, brown, green, orange, pink, purple, red, white, yellow

**shape** : circle, cross, diamond, heart, rectangle, square, star, triangle

名詞10 : 季節・月・曜日

morning, afternoon, night, today, tomorrow

**day** : Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday

**month** : January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December

**season** : spring, summer, autumn/fall, winter

**祝祭日** : birthday, Children's Day, festival, fireworks, Doll's Festival, New Year's Day, New Year's Eve, Snow Festival, Star Festival, vacation

名詞11 : 生き物

animal : ant, bear, cat, chicken, duck, cow, dog, elephant, fish, fox, frog, goat, gorilla, horse, iguana, jaguar, koala, lion, monkey, mouse, newt, ox, panda, pig, quail, rabbit, seal, sheep, snake, spider, tiger, vulture, wolf, zebra, yak

名詞12 : 自然・天気 \*一部形容詞を含む

**nature** : beach, flower, lake, mountain, rainbow, river, sea, tree

**weather** : cloudy 【形】、rainy 【形】、snowy 【形】、sunny 【形】、sun

名詞13 : 人・体

boy、girl、father、mother、brother、sister、friend、grandfather、grandmother  
body : ear、eye、face、hand、head、knee、leg、mouth、nose、shoulder、teeth ※複数形、toe

## 参考文献

- Bryan Gardner, Felicity Gardner 著、松川禮子監修、平松貴美子日本語版翻訳・執筆『小学校ではじめて英語を教える先生のための 教室英語ガイド』Oxford University Press. 2005年
- Krashen, S. *Principles and Practice in Second Language Acquisition*. Oxford: Pergamon. 1982年
- Krashen, Stephen D. and Tracy D. Terrell. *The Natural Approach: Language Acquisition in the Classroom*. New Jersey: Alemany Press. 1983年
- Pica, T. Research on negotiation: What does it reveal about second-language learning conditions, processes, and outcomes. *Language Learning*, 44(3). 1994年 pp. 493-527
- 大城賢編著『平成29年版 小学校 新学習指導要領ポイント総整理 外国語』東洋館 2017年
- 恵泉英語教育研究会 (KEES) 編、村岡有香、須藤桂子、飯窪実香著『外国語活動で使える！読み聞かせ絵本&活動アイデア』(成功する小学校英語シリーズ) 明治図書 2014年
- 小松幸子、西垣知佳子「インタラクシオンを促す英語絵本の読み聞かせとその効果」『小学校英語教育学会紀要』(8) 2007年 pp. 53-60
- 東京学芸大学 文部省委託事業「英語教育の英語力・指導力強化のための調査研究事項——平成28年度報告書」2017年
- 外山節子監修・著、入江智子、坂井邦晃、佐藤貴子、渋谷徹、藤澤京美著『小学校の外国語活動で成果を上げる 指導案付き 英語の絵本活用マニュアル』コスモピア 2010年
- 早川知江「英語絵本読み聞かせに活用できる英語表現集の開発：小学校外国語教育における読み聞かせ技術の向上を目指して」『Proceedings of JASFL』Vol. 15 日本機能言語学会 2021年 pp. 267-288
- 樋口忠彦、加賀田哲也、泉恵美子、衣笠知子編著『新編 小学校英語教育法入門』研究社 2017年
- 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）』2017年
- 文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編』2017年
- 文部科学省「平成30年度「英語教育実施状況調査」概要」[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2019/04/17/1415043\\_01\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2019/04/17/1415043_01_1.pdf) (2021年8月29日閲覧)
- 吉田博彦「小学校英語教育の理念」『小学校英語指導者資格取得研修講座 講義テキスト』アルク 2018年 pp. 59-115
- 萬谷隆一「小学校英語活動での絵本読み聞かせにおける教師の相互交渉スキルに関する事例研究」『北海道教育大学紀要 教育科学編』60(1) 2009年 pp. 69-80